

ビジネス・モバイル・イノベーション 2016

変革のスピードを早め、 新たな価値を生み出す鍵

開催日時

2016年4月14日(木)
13:30~16:25(受付開始 13:00~)

会場

コンgresクエア日本橋3F HALL D

〒103-0027 東京都中央区日本橋1-3-13 東京建物日本橋ビル3階
アクセス: 東京メトロ銀座線・東西線・都営浅草線「日本橋駅」B9出口 直結
JR線「東京駅 日本橋口」から徒歩5分
東京メトロ半蔵門線「三越前駅」B5出口より徒歩3分

参加規模

50名(事前登録制)/無料ご招待 ※ 申込み多数の場合は抽選とさせていただきます。

参加対象者

モバイルを活用したビジネス変革・効率化に課題をお持ちの皆様

主催

株式会社ビジネス・フォーラム事務局

協賛

日本アイ・ビー・エム株式会社

開催趣旨

ビジネスシーンにおいて、スマートフォンやタブレットといったスマートデバイスを業務利用・有効活用することは、今や企業にとって、当然のこととなりつつあります。

モバイルの普及は、情報漏えいなどのセキュリティリスクへの心配もある中、デジタル化への対応、IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)といったキーワードに代表されるように、日々、生み出される膨大なデータを新たな価値へとつなげることが、次代の競争優位を生み出すうえで、既に必要不可欠な要素になっています。

例えば、マネジメントの視点からモバイルを考えたとき、それは最前線の情報を素早く・適確につかむ、変化の予兆をいち早くつかむセンサーとして、自社の変革へとつながる意思決定や市場変化にともなう価値創造、新たな顧客体験の提供へのヒントをサポートしてくれるのではないのでしょうか？

本セミナーでは、今後、変革のスピードを早め、新たな価値を生み出すドライバーとしての「モバイル活用」にフォーカスし、どのようなポイントを整理しておくべきか？

企業における「データ」の価値の視点を整理するとともに、モバイル活用における変革や競争優位構築へのヒントをご紹介します。また、業界別に変革事例をご紹介します。業界特有の課題を共有し、皆様の今後の変革に少しでもお役立ていただける情報をお持ち帰りいただければと考えています。



プログラム詳細・ご登録はこちらから

<http://www.b-forum.net/mi2016>

変革のスピードを早め、 新たな価値を生み出す鍵

プログラム

※講演内容は予告なく変更になる場合がございます。

13:00~13:30

受付

13:30 ^{5分間}
~13:35

オープニング

日本アイ・ビー・エム株式会社 成長戦略 モバイル担当 部長 **高瀬 正子** 氏



13:35 ^{60分間}
~14:35

ゲスト基調講演

新たな価値創造の時代

~ データ自身が価値を産み出すデータ駆動経済へ ~

- 新たな価値を創出するIoT/IoE ■ これまでと何が違い、何が重要になるのか
- 企業は競争戦略、業務改革の定義を再構築へ ~ 企業における今後の価値創造 ~

東京大学 先端科学技術研究センター 教授 **森川 博之** 氏



プロフィール 1987年東京大学工学部電子工学科卒業。1992年同大学院博士課程修了。工学博。2006年東京大学教授。2007年より現職。ユビキタスネットワーク、センサネットワーク、モノのインターネット/M2M/ビッグデータ、無線通信システムなどの研究に従事。ドコモモバイルサイエンス賞、総務大臣表彰、志田林三郎賞など受賞。新世代M2Mコンソーシアム会長、OECDデジタル経済政策委員会(CDEP)副議長等。総務省情報通信審議会委員、国土交通省研究開発審議会委員、文部科学省科学技術・学術審議会専門委員等。

14:35~14:45

小休止 (10分間)

14:45 ^{50分間}
~15:35

キーポイント講演

モバイルで加速する、デジタル・エンタープライズへの道

~ コグニティブ時代の、新しい顧客エンゲージメントと事業変革 ~

IBMが世界の経営者にインタビューしてまとめた「グローバル経営層スタディ」によると、CEOは自社に最も影響を及ぼす外部要因はテクノロジーであり、その中でクラウド、モバイル、IoTが最も重要になると考えています。また、膨大なデータを活用するコグニティブ・コンピューティングの時代を迎え、コンテキストの理解に基づく、ユーザーを中心とした変革への取り組みが始まっています。本講演では、モバイルを起点に、新しい顧客エンゲージメントと事業変革について、IBMならではの取り組みをご紹介します。

日本アイ・ビー・エム株式会社 執行役員 戦略コンサルティング リーダー **池田 和明** 氏



プロフィール 事業戦略策定、組織改革および経営管理制度改革を専門領域とし、同分野で20年のコンサルティング経験を持つ。大手企業に対し責任者として同コンサルティングを多数実施。近年は、成長戦略策定、新規事業戦略策定、先端アナリティクスによる競争優位性の構築、ソリューション事業戦略をテーマにしたプロジェクトを手がけている。

日本アイ・ビー・エム株式会社 成長戦略 モバイル担当 部長 **高瀬 正子** 氏



プロフィール 1987年4月、日本アイ・ビー・エム(株)に入社。2005年に米国本社に駐在。帰国後、Tivoli、クラウド・プラットフォーム事業部長、SaaS / Bluemix ビジネス開発担当、等を経て、2015年7月より現職。日本IBMにおけるモバイル・ビジネスの責任者。

15:35 ^{50分間}
~16:25

分科会

業種別課題
解決セッション

A 顧客起点のマーケティング

~ 金融、通信業における課題 ~

モバイルの加速度的な普及により、企業と顧客との関係は大きく変わってきています。ユーザー・エクスペリエンスを最大限に高めるために企業が取るべき選択肢とは何か?潜在的なリスクは何か?こうした課題について、あるべき顧客起点の姿勢とモバイルの効果的な活用について二つの分科会にて討議させていただきます。

日本アイ・ビー・エム株式会社

IBMコマース事業部
コマース・コンサルティング・パートナー
浅野 智也 氏



プロフィール コンсалティング、システム構築、アウトソーシングビジネス、成長戦略事業の統括などを経験。金融業、通信・ハイテク業担当コンサルタントとして13年間勤務、その後顧客戦略コンサルティング部門のリーダーとスマーター・コマース事業のリーダーを経験。近年においては、グローバルウェブ統合、デジタルマーケティング、オムニチャネル戦略等のプロジェクトを実施し、コマース事業を推進している。

B 顧客起点のマーケティング

~ 流通業における課題 ~

日本アイ・ビー・エム株式会社

IBMコマース事業部
コマース・コンサルティング・アソシエイト・パートナー
久保田 和孝 氏



プロフィール 企業間SCMの先駆けであるCRPの本邦初の導入、食品トレーサビリティ・プロジェクトなど、多くのeビジネスおよびSCMプロジェクトを担当。2011年にスマーター・コマース・イニシアティブを立ち上げ、2015年より現職。